



## 第7章

## 防災指針





## 7-1. 策定の背景

近年、自然災害は頻発・激甚化の傾向を見せており、まちづくりの検討においても防災・減災の観点からの検討を行うことが必要となっています。そのため、災害リスクが高い地域について居住誘導区域からの原則除外を徹底する必要があります。また、都市の防災機能を確保するため、令和2年9月には都市再生特別措置法が改正されました。この法改正により、居住誘導区域に残存する災害リスクに対しては、立地適正化計画に「防災指針」を定め、計画的かつ着実に必要な防災・減災対策に取り組まなければならないことが示されました。

本市の用途地域内には、ハザードマップによる浸水想定区域や、土砂災害警戒区域に設定されているエリアがあります。しかし、既に市街地が形成され、多くの公共施設などが集積している中で、利便性やまちづくりを進めるには、浸水想定区域や土砂災害警戒区域を除外した誘導区域を設定することは難しい状況です。

そこで本市では「庄原市強靱化地域計画」や「庄原市地域防災計画」による防災・減災対策を充実させるため、本計画の中に「防災指針」を定め、自助・共助・公助の取組を強化し、災害に強く安全で安心に暮らせるまちづくりを推進していきます。

## 7-2. 主な検討内容

本市では、以下の4つのステップにより防災指針を策定します。

### ● 災害リスクの分析

災害ハザード情報を収集し、今後想定される災害リスクを災害種別ごとに整理します。また、都市情報との重ね合わせにより、都市空間における災害リスクを分析します。

### ● 都市防災における課題の抽出

災害リスクの分析結果から、災害リスクの高い地域や将来都市構造上の課題を抽出するとともに、地域ごとの防災上の課題を整理します。

### ● 防災まちづくりの取組方針

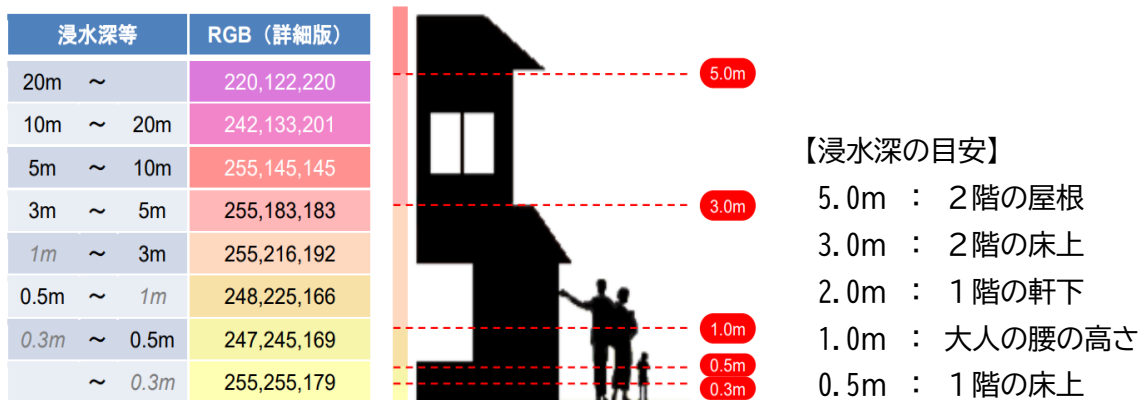
抽出した災害リスクと課題を踏まえた上で、居住誘導区域の設定における反映方針、並びに地域ごとの取組方針を定めます。

### ● 取組スケジュールと目標値の設定

ハード対策・ソフト対策の取組方針及び取組スケジュールを整理するとともに、進捗状況を評価するための指標及び目標値を設定します。

### 7-3. ハザードエリアの種類

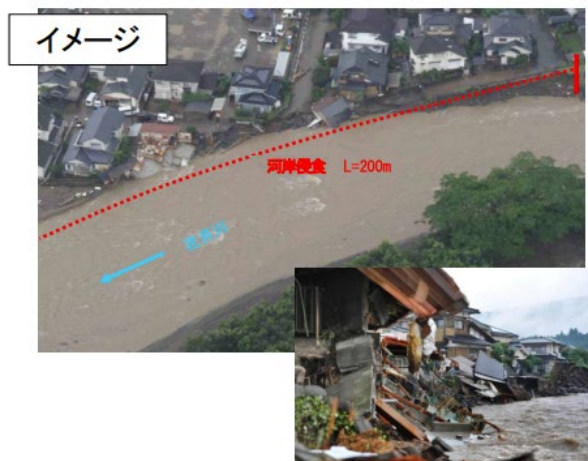
- **浸水想定区域（想定最大規模 L2）**：想定し得る最大規模の降雨（1000年に1回程度の確率とされる大雨）により河川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域。水害ハザードマップ等、避難行動を促すために活用されます。
- **浸水想定区域（計画規模 L1）**：河川の整備計画において基本となる規模の降雨（100年に1回程度の確率とされる大雨）により河川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域。河川整備等、防災・減災のための土地利用計画に関する基礎データとして活用されます。
- **浸水継続時間**：浸水深が最初に 0.5m に達してから、0.5m 未満となるまでにかかる時間。



- **家屋倒壊等氾濫想定区域**：洪水時に、家屋の流失・倒壊をもたらすような氾濫が発生するおそれがある区域で、以下の2種類があります。
  - ・ 氾濫流：河川堤防の決壊又は洪水氾濫流により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域。
  - ・ 河岸侵食：洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域。



堤防決壊に伴い木造家屋が倒壊した状況



河岸侵食により家屋倒壊した状況

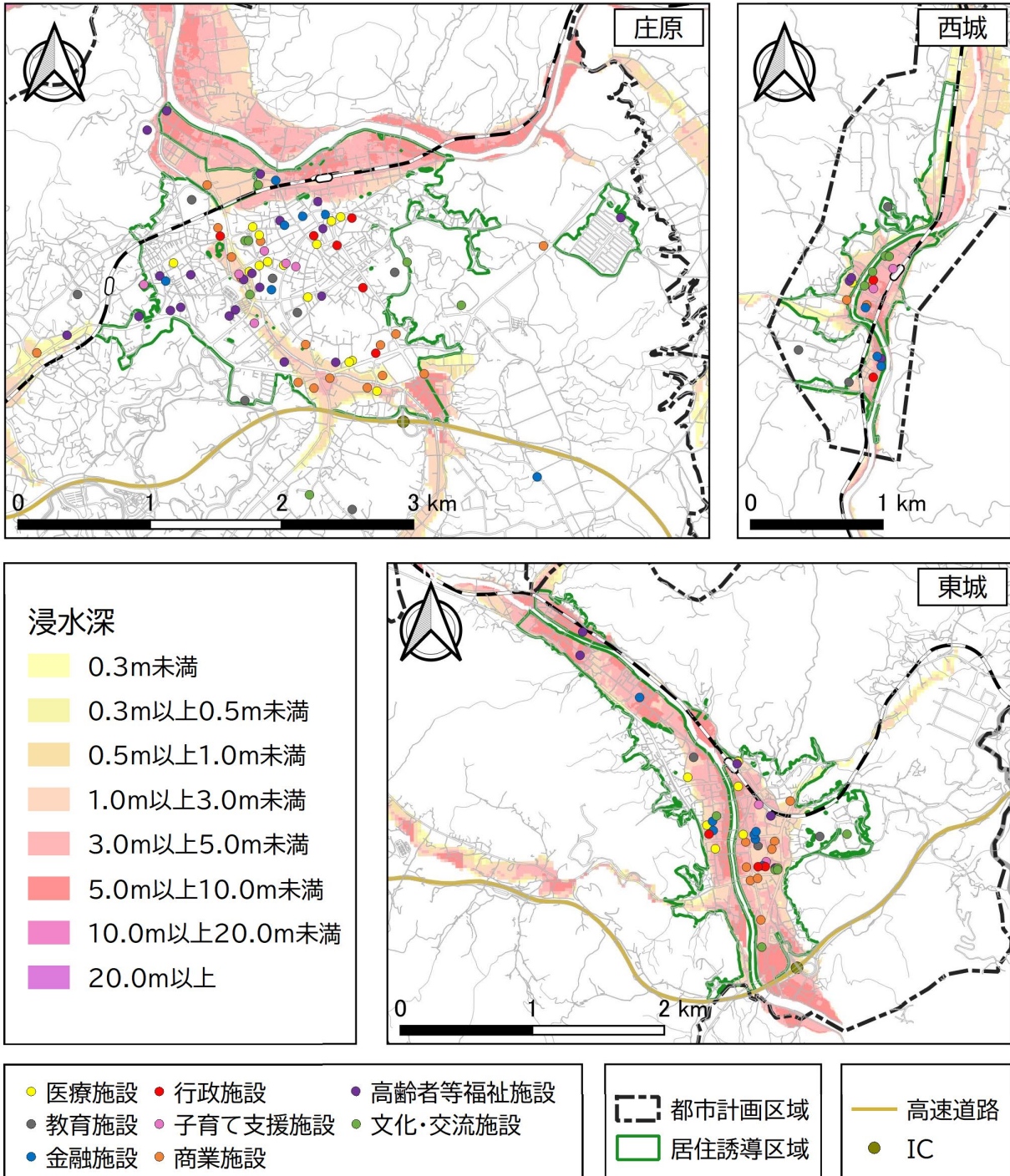


## 7-4. 災害リスクの分析

### (1) 洪水

#### ① 浸水想定区域（想定最大規模L2）

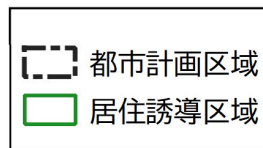
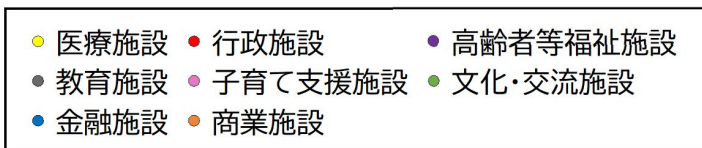
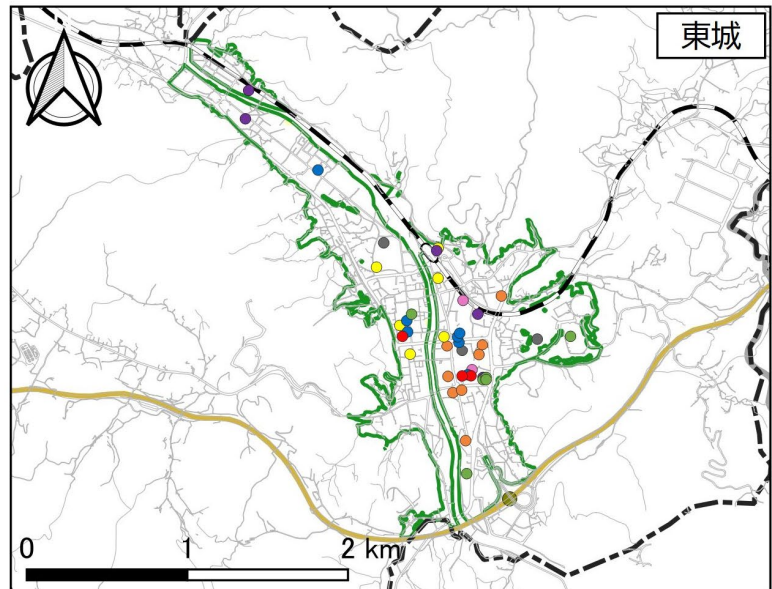
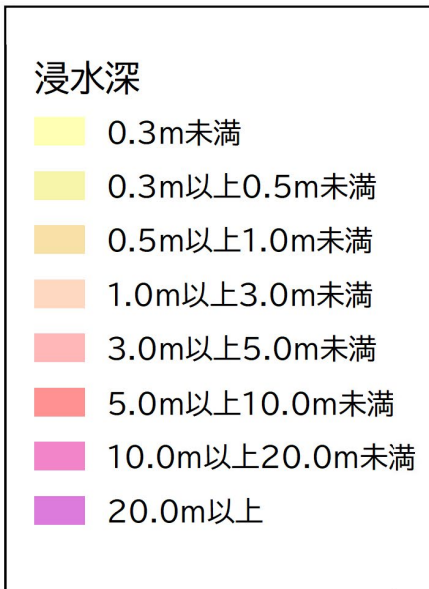
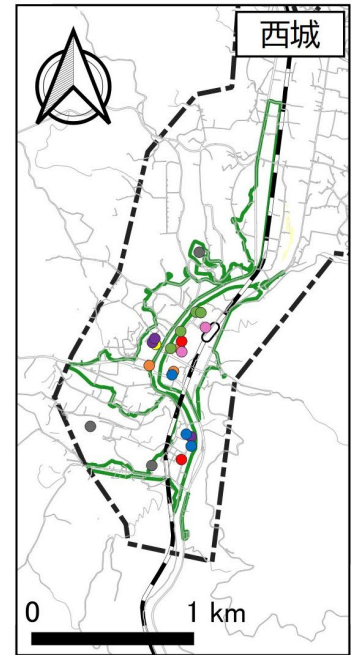
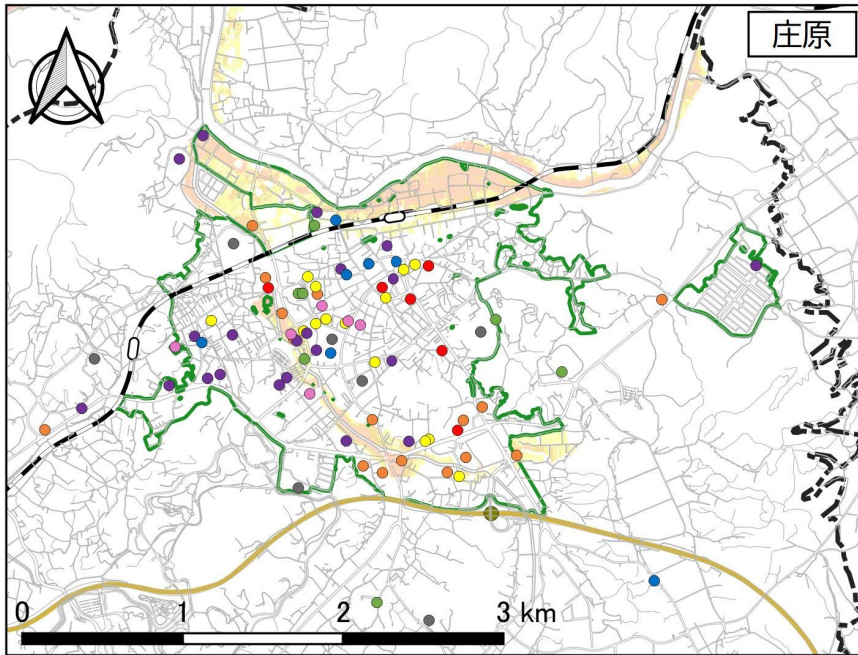
- 1000年に1回程度の確率とされる大雨（想定最大規模L2）の際に想定される浸水範囲は、西城川・成羽川沿いを中心に、各都市計画区域の市街地近辺に広がっています。
- 東城都市計画区域・西城都市計画区域では、用途地域内の広範囲で3.0m以上の浸水深が想定され、庄原都市計画区域では備後庄原駅の北側等に3.0mを超える浸水深が想定されています。



資料：広島県「洪水ポータルひろしま」令和4年6月時点

②浸水想定区域（計画規模L1）

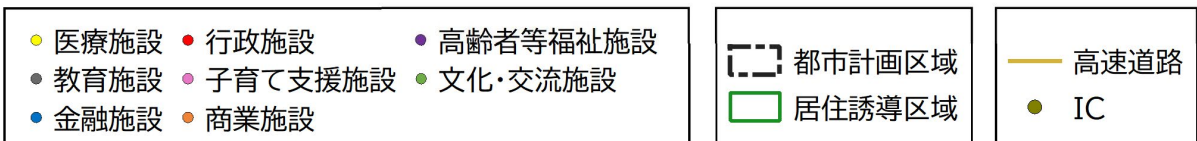
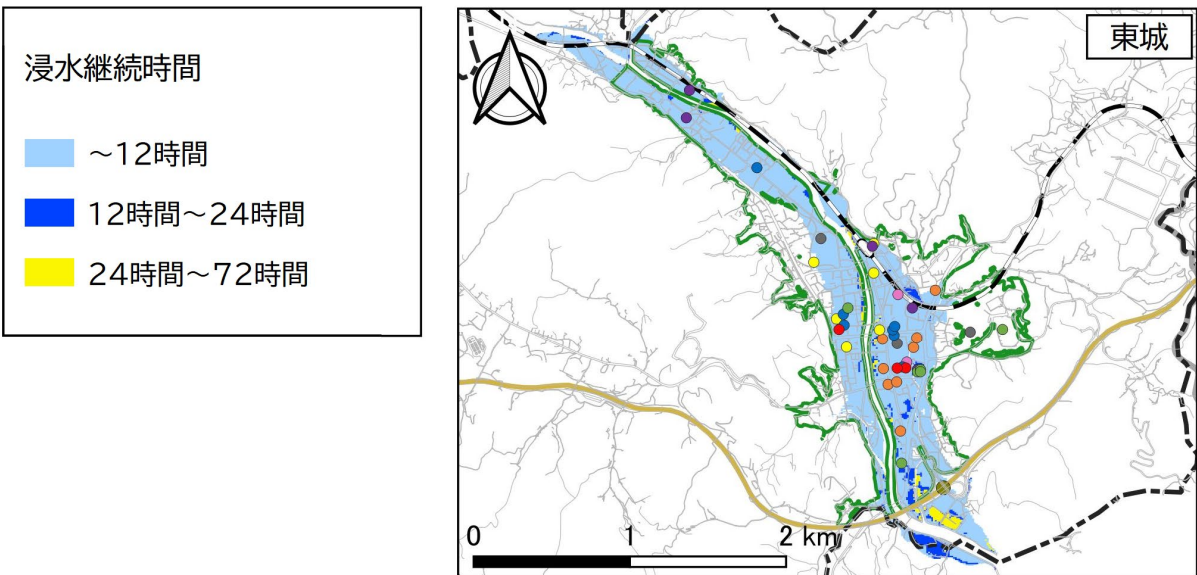
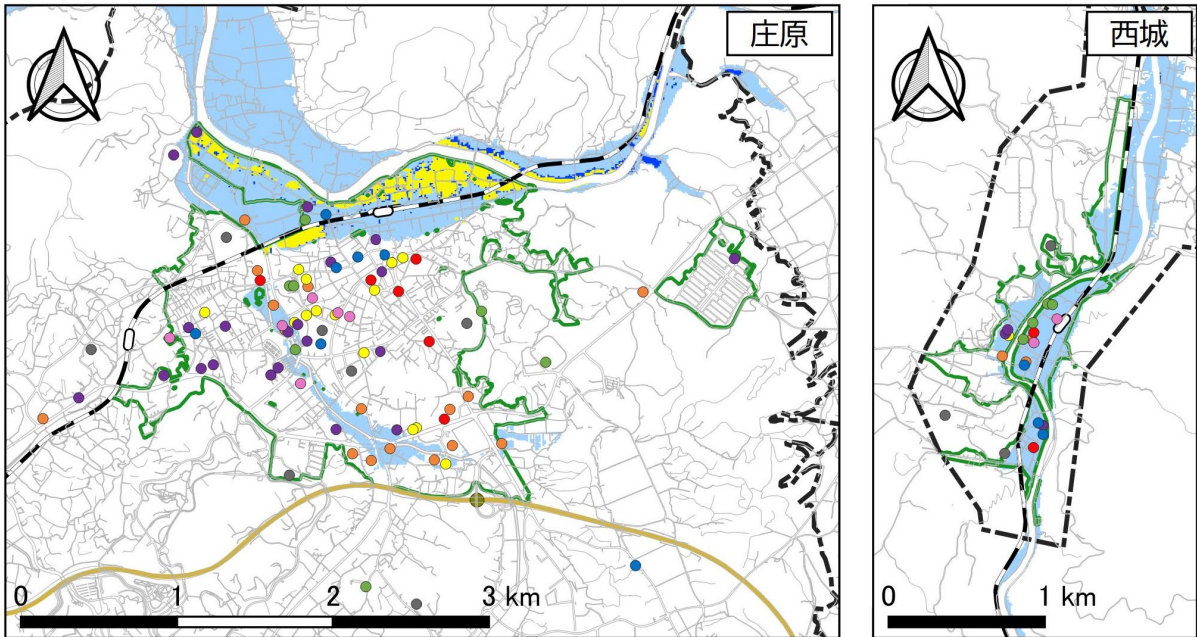
- 100年に1回程度の確率とされる大雨（計画規模L1）の際に想定される浸水範囲は、庄原都市計画区域の西城川沿いに広がっており、備後庄原駅の北側で浸水深3.0m未満が想定されていますが、東城都市計画区域・西城都市計画区域ではほとんど想定されていません。
- 想定最大規模L2と比較して想定範囲は狭いものの発生確率が上回るため、ハザードマップ等による周知や防災意識の向上、指定緊急避難場所への早期避難の促進等の取組が重要となります。



資料：広島県「洪水ポータルひろしま」令和4年6月時点

③浸水継続時間（想定最大規模L2）

- 浸水継続時間は 12 時間未満のエリアが大部分となっていますが、庄原都市計画区域や東城都市計画区域の一部では 12 時間以上が想定される箇所があります。
- 浸水継続時間が長時間にわたる場合、洪水発生時に垂直避難（建物の上階への避難）を行っても、停電や上下水道の機能停止等が生じることにより避難生活が困難となる場合が考えられるため、事前に避難所等へ避難することが必要です。



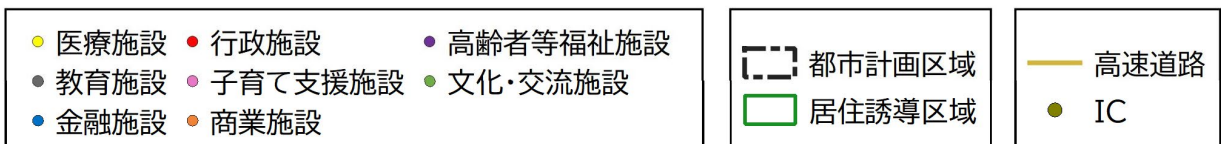
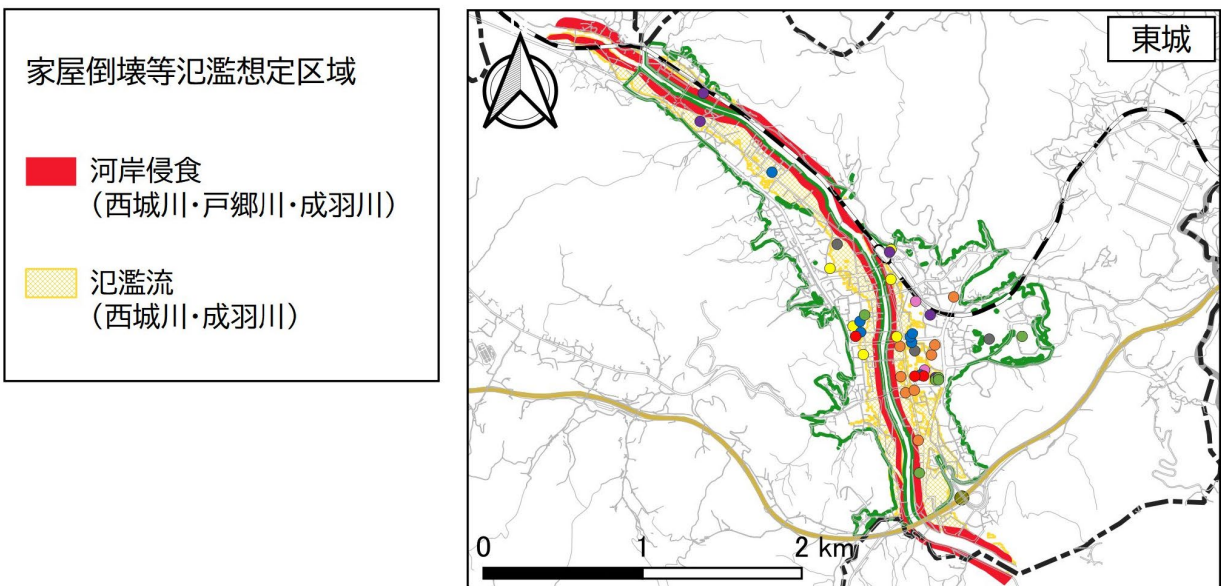
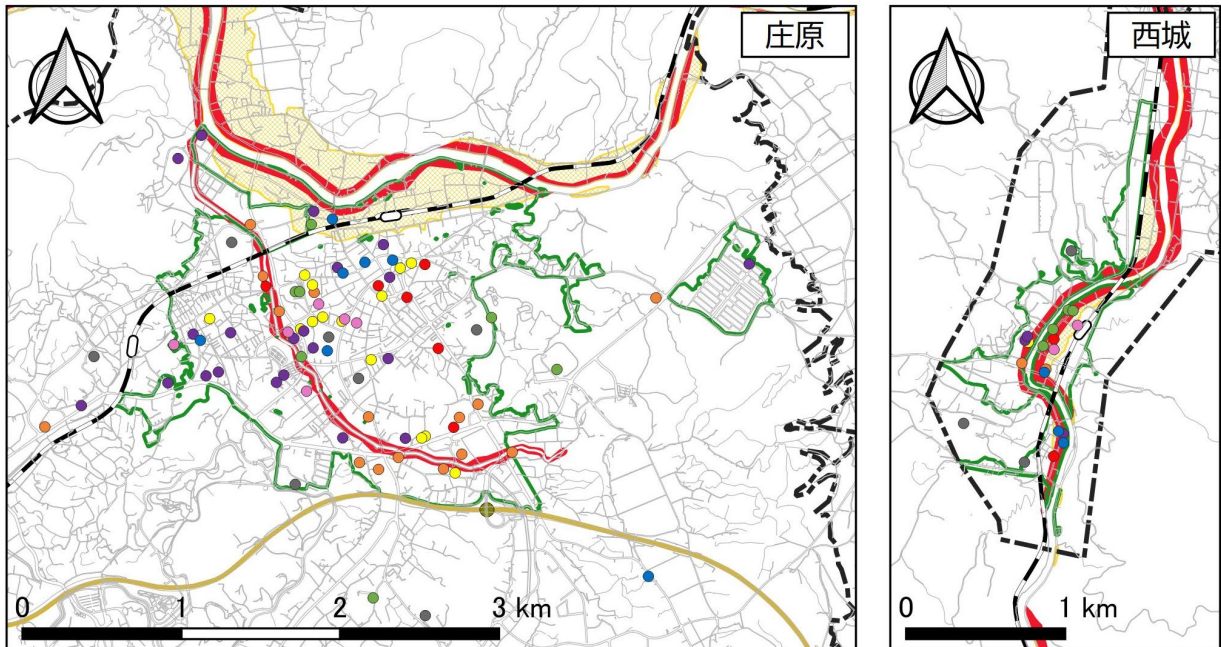
資料：広島県「洪水ポータルひろしま」令和4年6月時点

浸水継続時間・・・浸水深が 0.5m を超えてから、水が引いて 0.5m 未満となるまでにかかる時間



④家屋倒壊等氾濫想定区域（想定最大規模L2）

● 家屋倒壊等氾濫想定区域は、庄原都市計画区域では西城川・戸郷川沿い、西城都市計画区域では西城川沿い、東城都市計画区域では成羽川沿いの広範囲で指定されています。洪水発生時には建物が倒壊するおそれがあるため、事前に避難所等へ避難する必要があります。



資料：広島県資料 令和4年6月時点

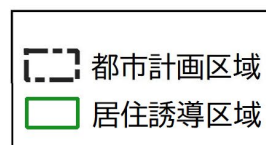
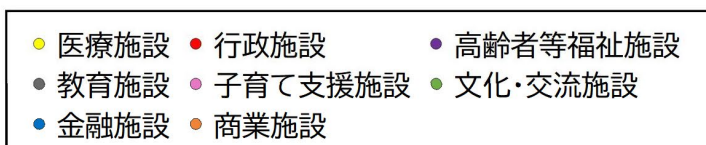
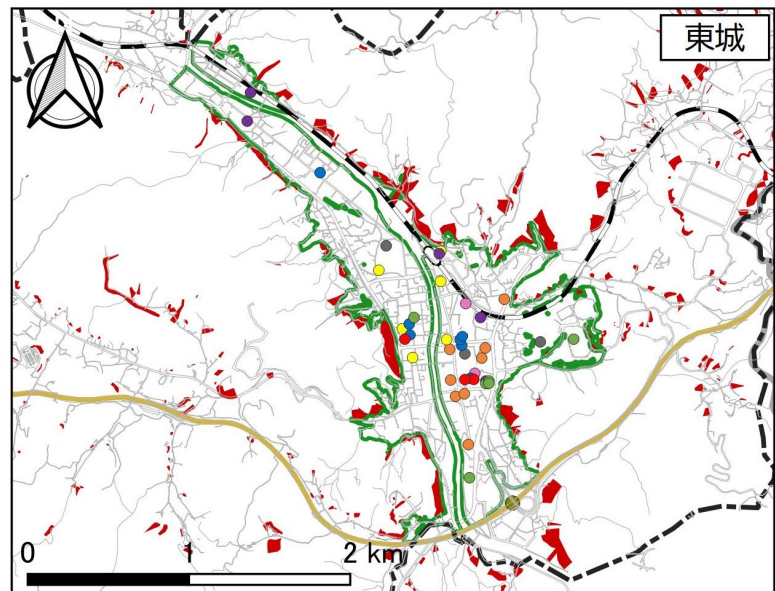
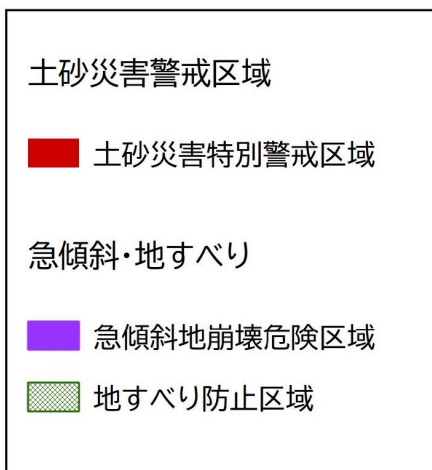
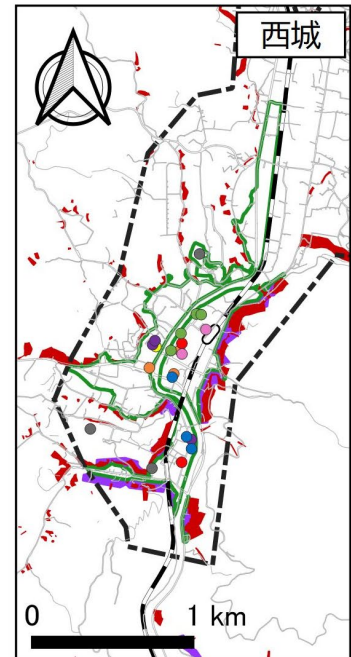
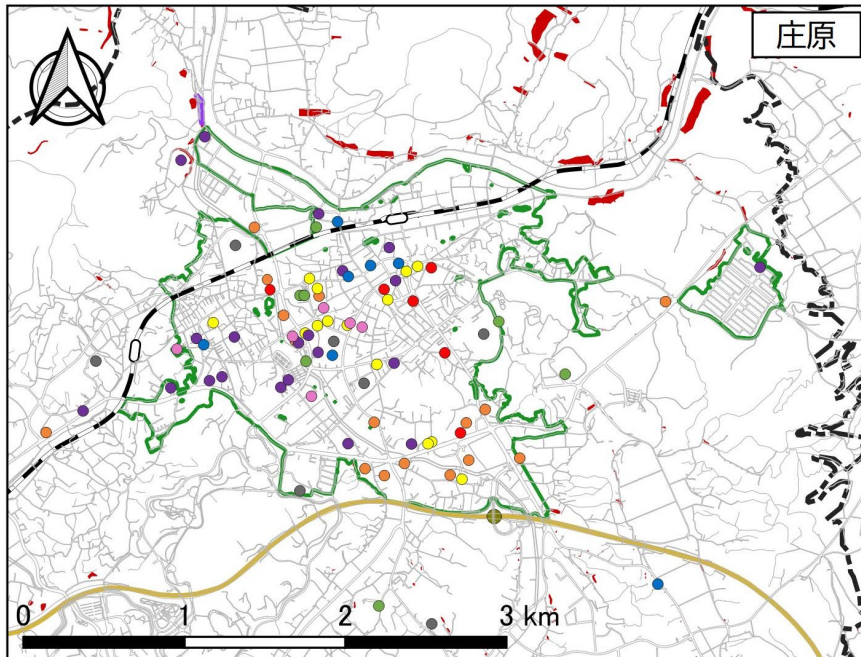
家屋倒壊等氾濫想定区域

- ・ 氾濫流・・・河川堤防の決壊又は洪水氾濫流により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域
- ・ 河岸侵食・・・洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域

## (2) 土砂災害

①土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域

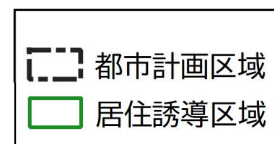
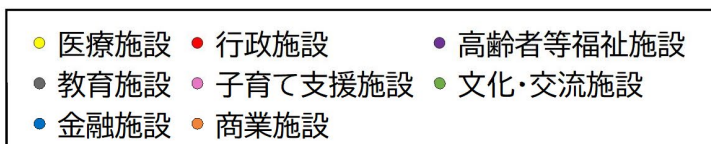
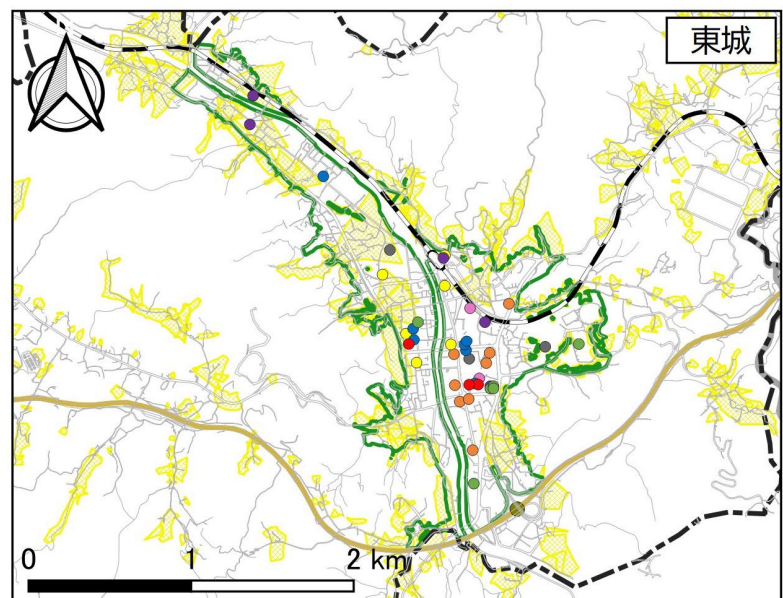
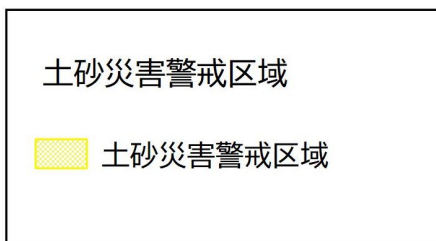
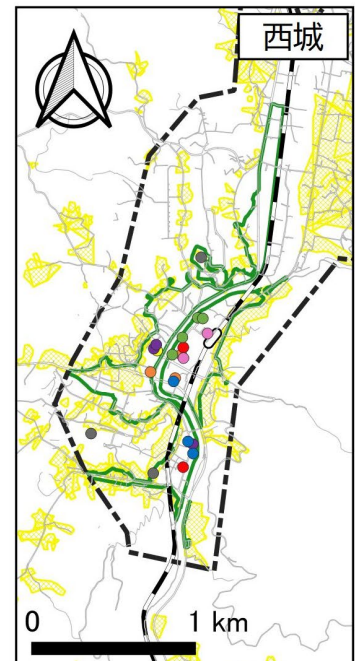
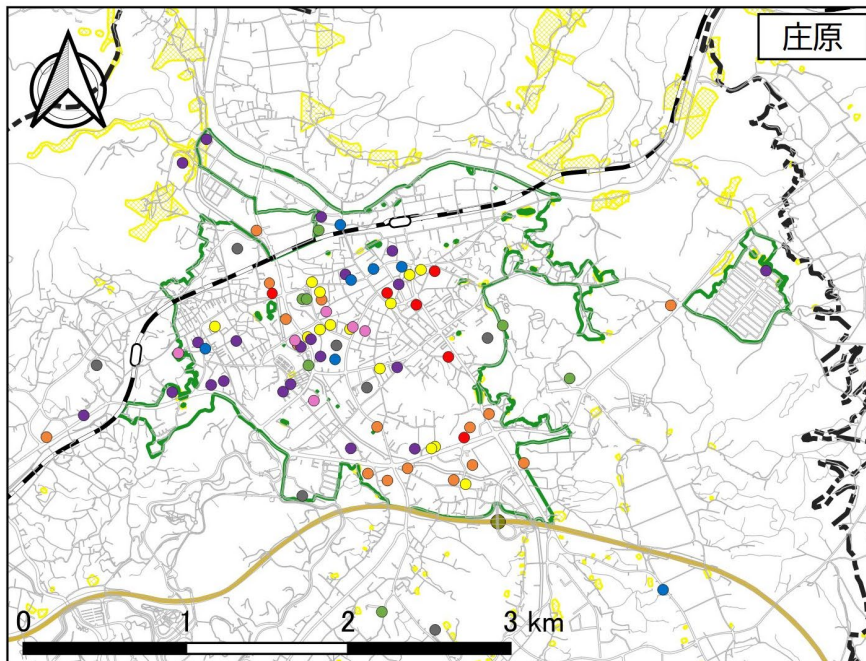
- 土砂災害特別警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域は、各都市計画区域内に点在しており、用途地域内の一部にも指定されています。
- 地すべり防止区域は、用途地域外に指定されています。



資料：広島県資料、広島県「土砂災害ポータルひろしま」 令和4年6月時点

②土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

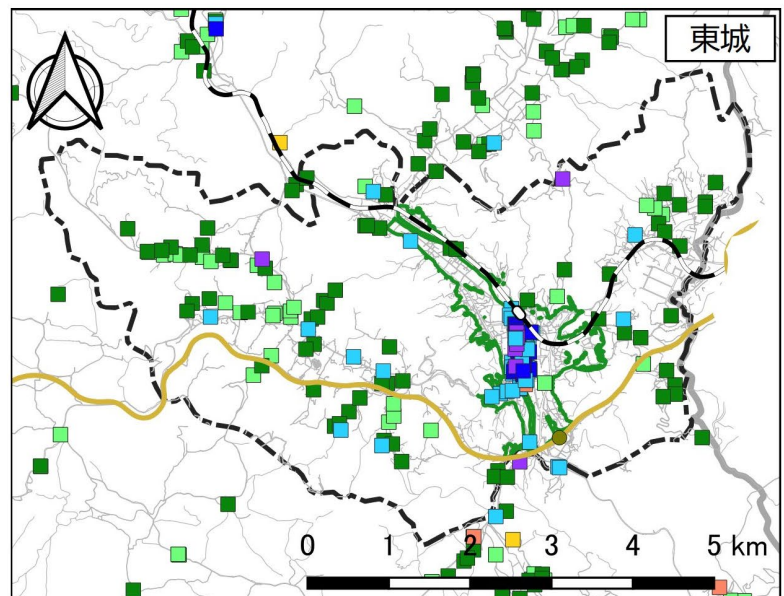
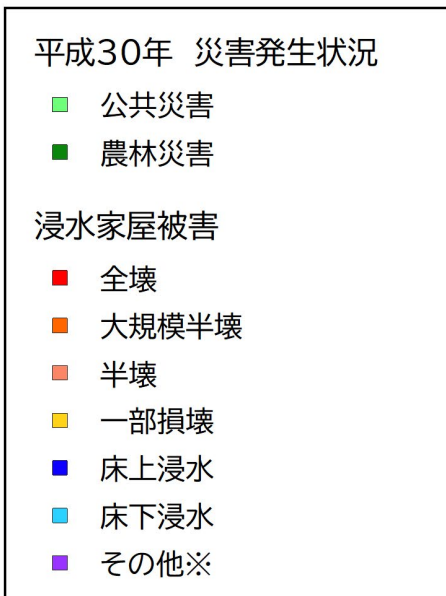
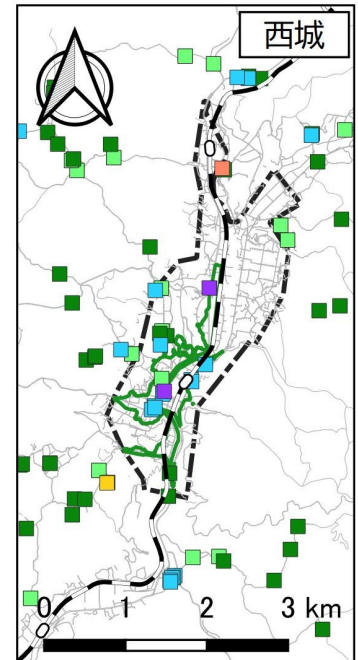
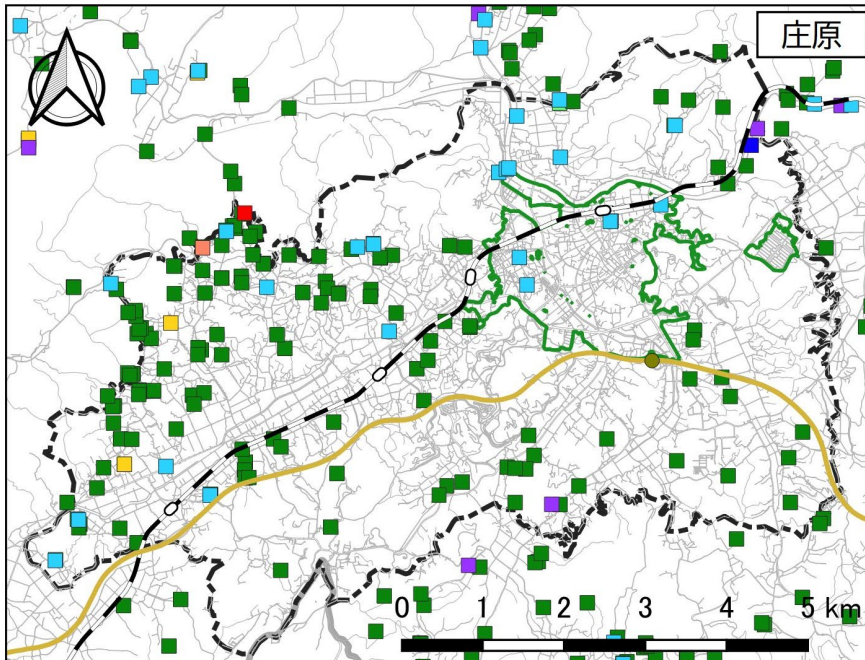
● 土砂災害警戒区域は、庄原都市計画区域については縁辺部を中心に指定されていますが、東城都市計画区域・西城都市計画区域では用途地域内の広い範囲にも指定されています。



資料：広島県「土砂災害ポータルひろしま」 令和4年6月時点

### (3) 本市における近年の災害発生状況

- 近年の大規模災害として、平成 30 年 7 月豪雨では公共災害（市管理の道路・河川における被害）及び農林災害（農地・営農施設・森林等における被害）が市内の広範囲で発生したほか、家屋被害 309 棟（うち全壊 2 棟）が発生しました。



※その他…半壊未満の土砂流入等  
図は、全ての発生箇所を網羅しているとは限らない

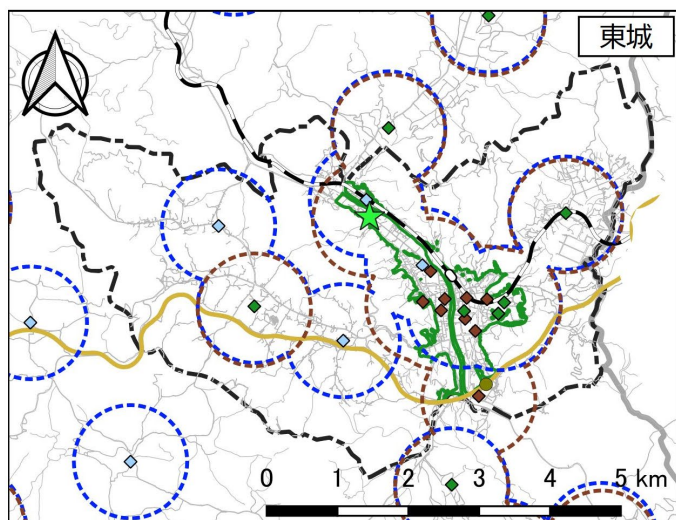
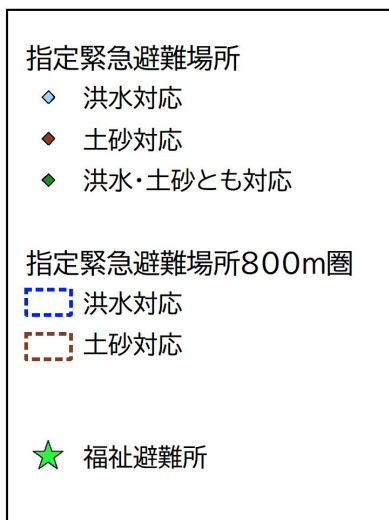
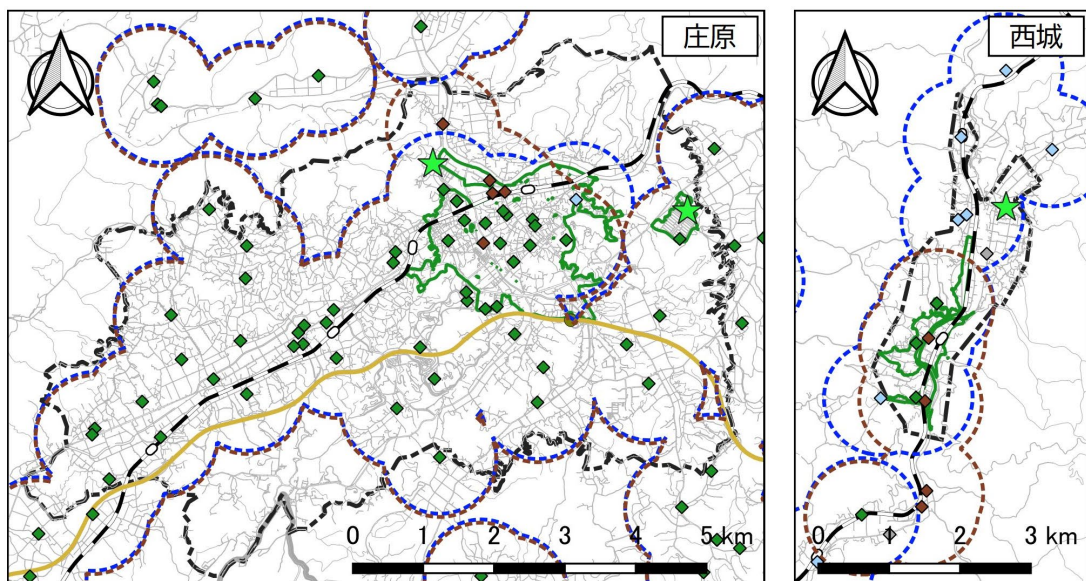


資料：庄原市資料

#### (4) 避難所の立地状況

- 都市計画区域内には 88 ヶ所の指定緊急避難場所が指定されており、用途地域の大部分は土砂・洪水とも対応可能な指定緊急避難場所から 800m圏内となっています。
- 指定緊急避難所のうち 17 ヶ所は指定避難所に指定されており、9 ヶ所が屋外避難所に指定されています。収容人員（屋外避難所を除く）の合計は、15,494 人となっています。
- 福祉避難所は、都市計画区域内に 4 ヶ所が指定されています。

地域	指定緊急避難場所（ヶ所）				指定避難所（ヶ所）	屋外避難所（ヶ所）	屋内収容人員（人）	福祉避難所（ヶ所）
	立地件数	地震	土砂	洪水				
庄原	57	27	56	52	12	7	8,737	2
東城	21	9	17	10	2	1	4,480	1
西城	10	5	6	7	3	1	2,277	1
合計	88	41	79	69	17	9	15,494	4



資料：庄原市資料 令和5年1月時点

指定緊急避難場所・避難所一覧（都市計画区域内、令和5年1月時点）

区域	名称	収容人員	地震	土砂	洪水	指定避難所	屋外避難所
庄原	大胡会館	36	—	○	○		
庄原	広島県立庄原実業高校（屋内運動場）	592	○	○	○	○	
庄原	広島県立庄原実業高校（屋外運動場）	4,560	○	○	○		○
庄原	庄原小学校	427	○	○	○	○	
庄原	庄原自治振興センター庄原市民会館	366	○	○	○	○	
庄原	庄原ショッピングセンター（ジョイフル）	473	○	○	—		
庄原	広島みどり信用金庫本店（3F会議室、4F旧宿直室）	300	○	○	○		
庄原	新道会館	40	○	○	○		
庄原	庄原市総合体育館	1,044	○	○	—		
庄原	庄原市ふれあいセンター	148	○	○	—		
庄原	紅屋コミュニティ会館	29	○	○	○		
庄原	庄原市役所（市民ひろば）	150	○	○	○		○
庄原	庄原中学校	810	○	○	○	○	
庄原	石丸老人集会所	42	—	—	○		
庄原	大歳下集会所	38	—	○	—		
庄原	美湯団地南集会所	61	○	○	○		
庄原	板橋小学校	319	○	○	○	○	
庄原	敷信自治振興センター	87	—	○	○	○	
庄原	新庄老人集会所	37	—	○	○		
庄原	新庄第2振興区集会所（みのりの里）	38	—	○	○		
庄原	庄原市リサイクルプラザ	101	○	○	○	○	
庄原	県立庄原特別支援学校	250	○	○	○		
庄原	三日市集会所	81	○	○	○		
庄原	広島県立庄原格致高校（屋内運動場）	900	○	○	○	○	
庄原	広島県立庄原格致高校（屋外運動場）	5,412	○	○	○		○
庄原	栄町集会所	28	—	○	○		
庄原	戸郷会館	49	—	○	○		
庄原	戸郷団地コミュニティセンター	44	—	○	○		
庄原	北後迫老人集会所	29	—	○	○		
庄原	東小学校	363	○	○	○	○	
庄原	上原老人集会所	41	—	○	○		
庄原	熊野多目的研修施設	38	—	○	○		
庄原	国営備北丘陵公園（エントランスセンター 国兼）	100	○	○	○		
庄原	国営備北丘陵公園（大芝生広場）	10,000	○	○	○		○
庄原	国営備北丘陵公園（第二駐車場）	837台	○	○	○		○
庄原	国営備北丘陵公園（第五駐車場）	649台	○	○	○		○
庄原	東自治振興センター	72	—	○	○	○	
庄原	旭会館	64	—	○	○		
庄原	県立広島大学 庄原キャンパス	750	○	○	○		
庄原	蜂原集会所	28	—	○	○		
庄原	中原集会所	31	—	○	○		
庄原	七塚西多目的研修施設	70	—	○	○		
庄原	庄原農業協同組合西支店	55	○	○	○		○
庄原	金信集会所	36	—	○	○		
庄原	八幡集会所	27	—	○	○		
庄原	田原多目的研修施設	40	—	○	○		
庄原	市町構造改善センター	70	—	○	○		

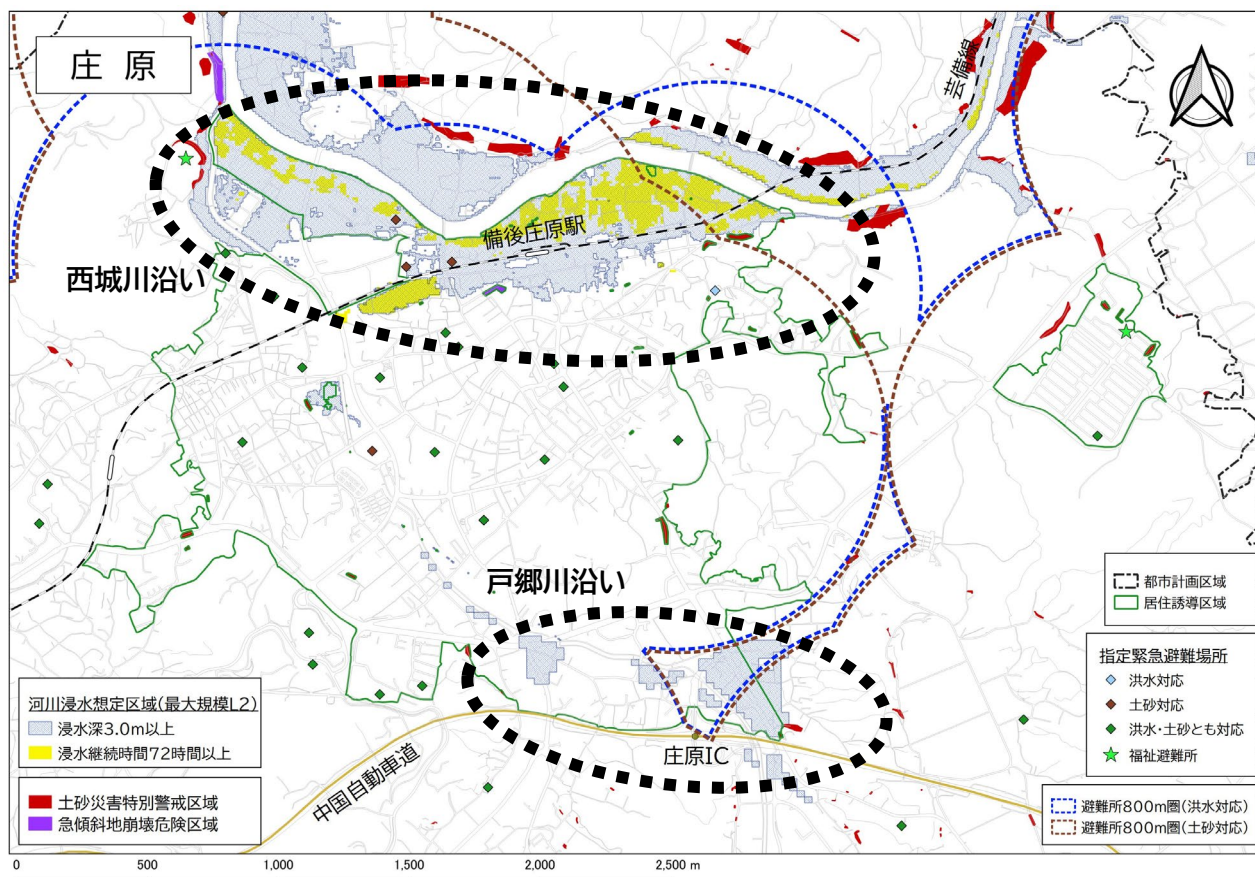
区域	名称	収容人員	地震	土砂	洪水	指定避難所	屋外避難所
庄原	市上組集会所	20	—	○	○		
庄原	市中愛農館	18	—	○	○		
庄原	掛田集会所	29	—	○	—		
庄原	本郷多目的研修施設	54	—	○	○		
庄原	殿垣内集会所	16	—	○	○		
庄原	行里多目的研修施設	46	—	○	○		
庄原	山内小学校	320	○	○	○	○	
庄原	山内自治振興センター	37	—	○	○	○	
庄原	山王集会所	38	—	○	○		
庄原	隠地多目的研修施設	60	—	○	○		
東城	しまなみ信用金庫東城支店	300	—	○	—		
東城	ヤマモトロックマシン（株）	160	—	○	—		
東城	徳了寺	50	—	○	—		
東城	東城高等学校	600	○	○	—		
東城	東寿園	50	○	○	—		
東城	川西振興会館	50	—	○	—		
東城	川西集会所	40	—	—	○		
東城	宮平団地集会所	50	○	—	○		
東城	川東集会所	50	—	○	—		
東城	東城ふれあいセンター	200	—	○	—		
東城	東城自治振興センター	500	○	○	—		
東城	東城小学校	500	○	○	—		
東城	庄原農業協同組合東城支店	300	—	○	○		
東城	こどもの館	200	—	○	—		
東城	東城中央運動公園	200	○	○	○	○	
東城	東城中学校	1,000	○	○	○	○	
東城	東城中学校（屋外運動場）		○	○	○		○
東城	福代老人集会所	50	—	○	○		
東城	戸宇頭谷集会所	40	—	—	○		
東城	下郷集会所	40	—	—	○		
東城	戸宇集会所	100	○	○	○		
西城	本町会館	47	—	○	—		
西城	西城小学校	483	○	○	○	○	
西城	大佐農業技術研修集会所	76	—	—	—		
西城	西城自治振興センター	506	—	○	—		
西城	旧美古登小学校	220	○	—	○		
西城	有田老人集会所	42	—	—	○		
西城	西城中学校	487	○	○	○	○	
西城	西城中学校（屋外運動場）		○	○	○		○
西城	西城保健福祉センター（しあわせ館）	369	○	○	○	○	
西城	比婆山会館	47	—	—	○		

#### 福祉避難所一覧

区域	名称	収容人員	地震	土砂	洪水
庄原	特別養護老人ホームハピネスヒル	—	○	○	○
庄原	地域密着型小規模特別養護老人ホーム ゆうしゃいん庄原	—	○	○	○
東城	東寿園	84	○	○	—
西城	特別養護老人ホーム愛善苑	—	○	○	○

## 7-5. 課題の抽出と防災まちづくりに向けた取組方針

想定最大規模（1000年に1回程度の確率とされる大雨）の河川浸水想定区域と浸水継続時間、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、急傾斜地崩壊危険区域を主な対象として、地域別・災害種類別の課題を抽出するとともに、防災まちづくりに向けた取組方針を以下の通り設定します。



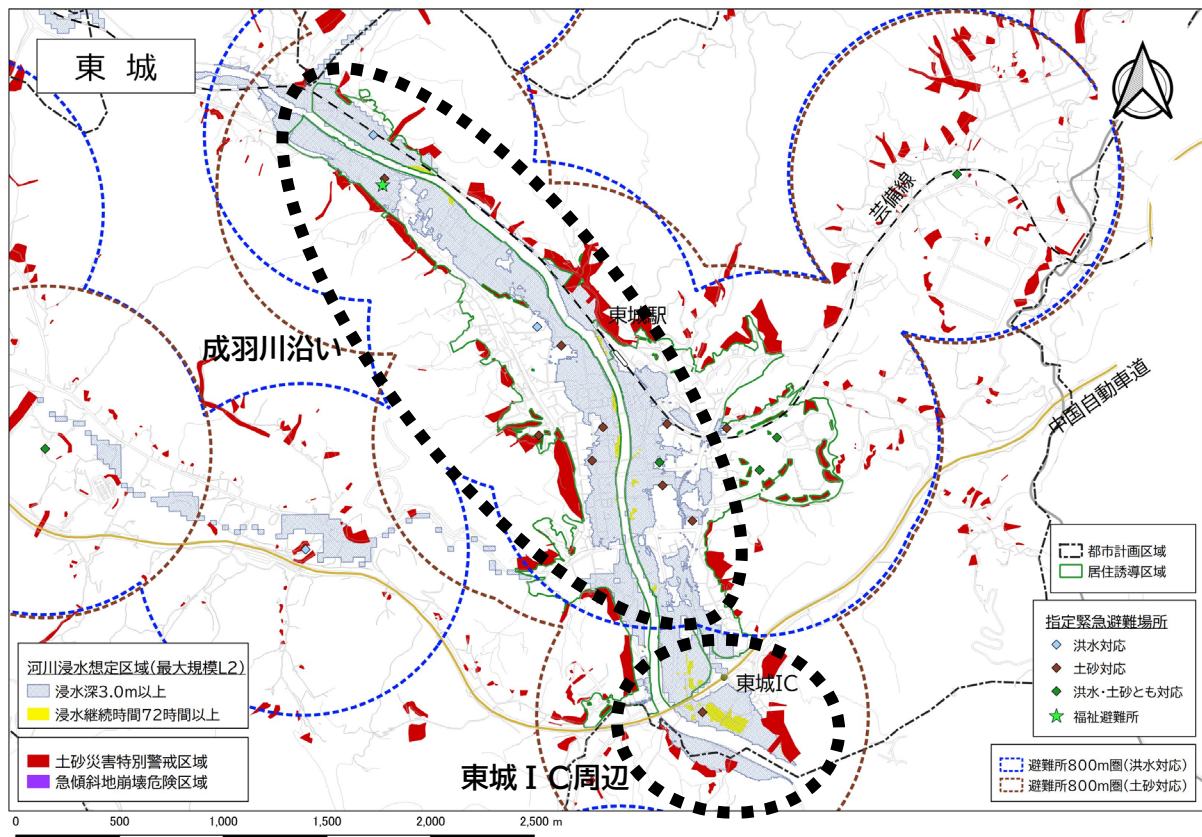
### a. 庄原地域

	都市防災における課題	取組方針	
西城川沿い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○浸水深 3.0m以上の箇所があり、本市の玄関口である備後庄原駅の周辺が含まれる</li> <li>○浸水継続時間 72 時間以上のエリアがあり、避難所への避難が必要</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ソフト】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災計画・強靱化地域計画等に基づく対策の推進</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ハード】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○河川整備計画に基づく河川改修等の推進</li> <li>○公共施設の耐震化・長寿命化の推進</li> <li>○避難路となる道路や内水被害を防ぐための排水路の整備</li> </ul>
戸郷川沿い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○浸水深 3.0m以上の箇所があり、庄原 IC の周辺が含まれる</li> <li>○庄原 IC 付近には、避難所 800 m圏外のエリアが残っている</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ソフト】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災計画・強靱化地域計画等に基づく対策の推進</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ハード】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○避難路となる道路や内水被害を防ぐための排水路の整備</li> </ul>

	取組方針		
エリア全般	<b>災害リスクの回避</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害リスクの高いレッドゾーン等を誘導区域から除外</li> <li>○浸水想定区域における防災機能の充実</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ソフト】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災計画・強靱化地域計画等に基づく対策の推進</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ハード】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大規模盛土造成地の居住誘導区域内における宅地耐震化推進事業の促進</li> </ul>

※河川洪水への対策については、ソフト対策は想定最大規模（1000年に1回程度の確率とされる大雨）、ハード対策は計画規模（100年に1回程度の確率とされる大雨）を想定することを基本とします。



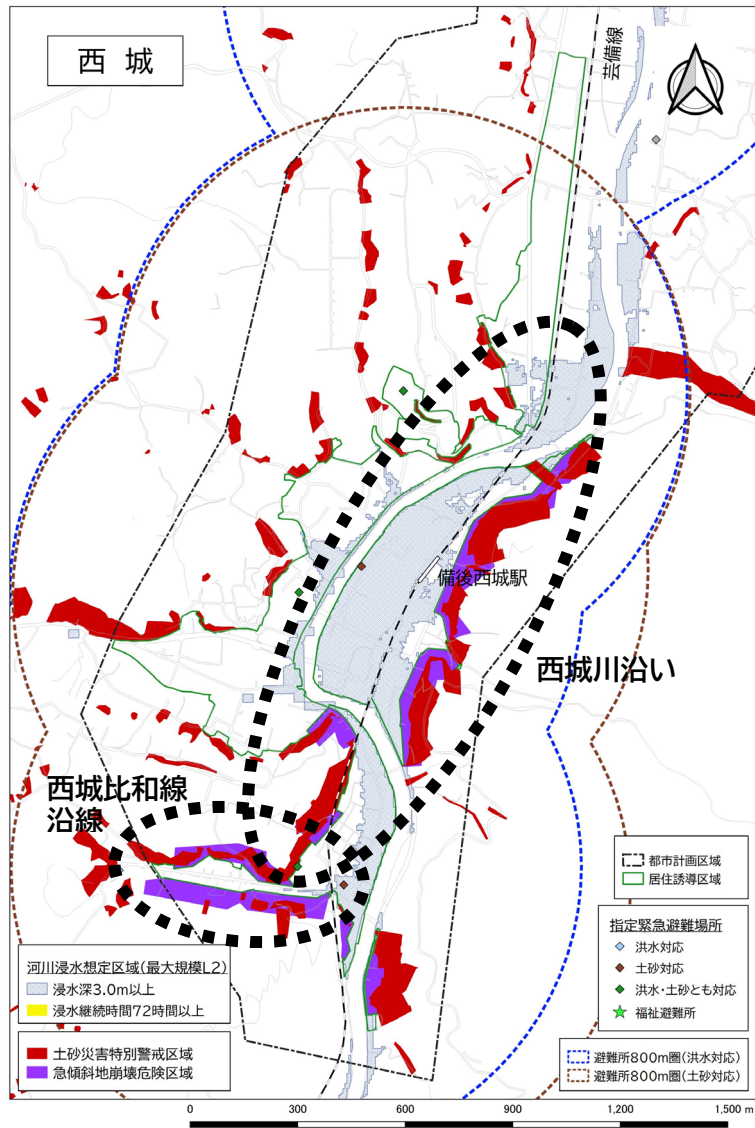


b. 東城地域

	都市防災における課題	取組方針	
成羽川沿い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広範囲に浸水深 3.0m以上の箇所があり、地域の中核機能が集まる東城支所や東城駅の周辺が含まれる</li> <li>○誘導区域から除外しているものの、誘導区域の縁辺部に土砂災害リスクがある</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ソフト】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災計画・強靱化地域計画等に基づく対策の推進</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ハード】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○河川整備計画に基づく河川改修等の推進</li> <li>○砂防ダム等の整備</li> <li>○崩落防止工事等による災害リスクの低減</li> <li>○公共施設の耐震化・長寿命化の推進</li> <li>○避難路となる道路や内水被害を防ぐための排水路の整備</li> </ul>
東城 IC 周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広範囲に浸水深 3.0m以上の箇所がある</li> <li>○洪水に対して、避難所 800m圏外のエリアが残っている</li> <li>○浸水継続時間 72 時間以上のエリアがあり、避難所への避難が必要</li> <li>○誘導区域から除外しているものの、誘導区域の縁辺部に土砂災害リスクがある</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ソフト】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災計画・強靱化地域計画等に基づく対策の推進</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ハード】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○砂防ダム等の整備</li> <li>○崩落防止工事等による災害リスクの低減</li> <li>○避難路となる道路や内水被害を防ぐための排水路の整備</li> </ul>

	取組方針		
エリア全般	<b>災害リスクの回避</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害リスクの高いレッドゾーン等を誘導区域から除外</li> <li>○浸水想定区域における防災機能の充実</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ソフト】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災計画・強靱化地域計画等に基づく対策の推進</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ハード】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大規模盛土造成地の居住誘導区域内における宅地耐震化推進事業の促進</li> </ul>

※河川洪水への対策については、ソフト対策は想定最大規模（1000年に1回程度の確率とされる大雨）、ハード対策は計画規模（100年に1回程度の確率とされる大雨）を想定することを基本とします。



c. 西城地域

	都市防災における課題	取組方針	
西城川沿い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広範囲に浸水深 3.0m以上の箇所があり、地域の中核機能が集まる西城支所や備後西城駅の周辺が含まれる</li> <li>○誘導区域から除外しているものの、芸備線の東側に土砂災害リスクがある</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ソフト】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災計画・強靱化地域計画等に基づく対策の推進</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ハード】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一定計画（県単独事業）に基づく河川改修等の推進</li> <li>○避難路となる道路や内水被害を防ぐための排水路の整備</li> <li>○砂防ダム等の整備</li> <li>○崩落防止工事等による災害リスクの低減</li> <li>○公共施設の耐震化・長寿命化の推進</li> </ul>
西城比和線沿線	<ul style="list-style-type: none"> <li>○誘導区域から除外しているものの、西城比和線の両側に土砂災害リスクがある</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ソフト】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災計画・強靱化地域計画等に基づく対策の推進</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ハード】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○砂防ダム等の整備</li> <li>○崩落防止工事等による災害リスクの低減</li> </ul>

	取組方針		
エリア全般	<b>災害リスクの回避</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害リスクの高いレッドゾーン等を誘導区域から除外</li> <li>○浸水想定区域における防災機能の充実</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ソフト】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災計画・強靱化地域計画等に基づく対策の推進</li> </ul>	<b>災害リスクの低減【ハード】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大規模盛土造成地の居住誘導区域内における宅地耐震化推進事業の促進</li> </ul>

※河川洪水への対策については、ソフト対策は想定最大規模（1000年に1回程度の確率とされる大雨）、ハード対策は計画規模（100年に1回程度の確率とされる大雨）を想定することを基本とします。

## 7-6. 取組スケジュールと目標値の設定

河川改修や土砂災害への対策といった国・県等と連携して取り組むハード対策のほか、本市の独自の取組として、災害対策の総合的な計画である「庄原市地域防災計画」や、各分野における防災・減災施策の指針として策定された「庄原市強靱化地域計画」等に即し、ハード・ソフト両施策の推進を図ります。

### (1) 国・県等と連携して取り組むハード対策

対応方針	庄原		東城		西城		事業主体	実施期間		
	西城川沿い	戸郷川沿い	成羽川沿い	東城IC周辺	西城川沿い	西城比和線沿線		短期5年	中期10年	長期15年
河川整備計画に基づく河川改修等の推進	○		○		○		県	→		←→
避難路となる道路や排水路の整備	○	○	○	○	○		県・市	→	←	→
砂防ダム等の整備			○	○	○	○	県	→		←→
崩落防止工事等による災害リスクの低減			○	○	○	○	県	→	←	→
公共施設の耐震化・長寿命化の推進	○		○		○		国・県・市	→	←	→
大規模盛土造成地に関する宅地耐震化推進事業の促進	居住誘導区域内						県・市	→	←	→

→ 実施予定

←→ 継続予定

## (2) 本市独自の取組

分類	対応方針	取組内容	実施期間		
			短期 5年	中期 10年	長期 15年
災害リスクの 低減(ハード)	強靱化地域計画 等に基づく対策	支所機能の維持・充実を図るための改修整備	→		
		集会所改修・修繕への助成	→		
		老朽ため池、老朽水路、農道等の改修整備	→	→	←→
		道路改良事業	→	→	→
災害リスクの 低減(ソフト)	強靱化地域計画 等に基づく対策	防災マップの作成・配布	→	←	→
		空家等の調査・対策計画の策定	→	←	→
	地域防災計画に 基づく対策	防災教育や防災訓練の実施	→	→	→
		消防団への入団促進	→	→	→
		自主防災組織の設立、活動等への助成	→	→	→
		多数の人が集まる施設の避難計画の作成	→		
災害リスクの 回避	立地適正化計画 に基づく対策	災害リスクの高いレッドゾーン等を誘導区域から除外	→	→	→
	その他	浸水想定区域における防災機能の充実	→	→	←→

※河川洪水への対策については、ソフト対策は想定最大規模（1000年に1回程度の確率とされる大雨）、ハード対策は計画規模（100年に1回程度の確率とされる大雨）を想定することを基本とします。

→ 実施予定  
←...→ 継続予定

## (3) 目標値の設定

「庄原市強靱化地域計画」（目標年次：令和7年度）におけるハード・ソフト対策の目標値を参考に、本計画の目標値の基準年次（令和22年度）にはそれ以上の達成度となっていることを想定して、以下の通り設定します。

指標項目	現状値	目標値(R22)
多数の者が利用する建築物の耐震化率	88.8%(R2)	100%
市道改良率	69.5%(R1)	72.3%以上
住宅の耐震化率	67.6%(R2)	78.4%以上
消防団員充足率	92.2%(R1)	95.7%以上
自主防災組織の組織率	75.7%(R1)	80.0%以上

※「庄原市強靱化地域計画」の改定により目標値の見直しがあった場合には、本計画の改定時に整合を図るものとします。